

令和元年度第2回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和元年10月16日(水) 開会 午後1時34分 閉会 午後3時45分		
2 場所	さぬき市教育委員会会議室		
3 出席者	市長	大山 茂樹	
	教育委員会	安藤 正倫 徳田 二三男 得丸 慶子 廣瀬 強 多田 俊 西尾 由香	
	事務局	教育部長	中野 敏記
		教育総務課長	間嶋 文一
		学校教育課長	富田 克美
		生涯学習課長	細川 史朗
		幼保こども園課長	多田 千稔
		人権推進課長	山田 謙二
		政策課長	谷 訓昌
		教育総務課課長補佐	高西 恵
教育総務課係長	佐藤 理絵		
その他説明等のため出席した者	なし		
4 会議に付した協議・調整事項	(1) さぬき市教育大綱について (2) その他		
5 特記事項	傍聴人 3名		
6 会議内容	開会		
教育部長	ただ今から、令和元年度第2回さぬき市総合教育会議を開会いたします。 なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項に基づき、総合教育会議は原則公開とされておりますが、今回の会議では、傍聴人は3名であることを報告します。 それでは、開会に当たり、市長から御挨拶をお願いします。		
市長	(挨拶)		
教育部長	ありがとうございます。 続いて、教育委員会教育長から御挨拶をお願いします。		
教育長	(挨拶)		
協議・調整事項			

<p>教育部長</p>	<p>それでは、協議・調整事項に入ります。さぬき市総合教育会議運営規程第3条の規定に基づき、協議・調整事項について、ここからの議事進行は、市長にお願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>早速ですが、議題1の令和2年度における当初予算編成に向けた方針について、事務局配付の資料を御覧いただきながら、皆さんからの率直な御意見をお聴きできればと思っています。</p> <p>では、一人ずつお願いします。</p>
<p>教育委員</p>	<p>私が興味を持ったのは、南川少年自然の家の野外炊飯場改修です。市内の小中学校では、集団宿泊学習として屋島少年自然の家や五色台少年自然センターを利用していますが、せっかく市内に南川少年自然の家があるので、市内の小中学校も積極的に施設を利用してほしいと思います。そこで宿泊を体験したり、拠点として市内の古墳巡りや多和の天体望遠鏡博物館を訪れたりすれば、ふるさと教育の更なる充実にも繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>それから、前にも発言させていただいたことがあります。津田古墳群が国指定の文化財となっていますので、旧鶴羽小学校の施設の一部を活用して、ビジターセンターを作ってほしいです。大阪府堺市の仁徳天皇陵古墳を始めとする百舌鳥古墳群も、世界遺産登録を機にビジターセンターの再整備が進められているようですので、そういった先進地の事例を参考に、是非検討していただきたいですね。</p> <p>最後に三点目として、市町村によっては、給食費を全額負担している自治体もあるようですが、それは非常に難しいことだと思います。しかし、教材費のような教育にかかる費用の一部を支援していただけると、保護者は非常に助かるのではないかなと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>給食費の問題は、皆さんの御意見を非常に聴きたかったところです。</p> <p>幼児教育・保育の無償化の流れにあっても、給食費については、原則として徴収することになっていますが、来年度から、県下では三豊市や丸亀市で、幼稚園や保育所等において給食費の無償化の動きがあるようです。</p> <p>そのことについて、皆さんはどうお感じですか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>市が負担してくれるのは、いいと思います。三豊市や丸亀市が無償化にするのであれば、他の自治体も追随する可能性がありますので、そういった流れになるのであれば、早めに取り組むのがいいのではないのでしょうか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>給食費の自己負担を軽くする代わりに、税金の一部を少し値上げするなどして、市全体で子どもを育てましょうという姿勢が大事だと思います。</p>
<p>教育委員</p>	<p>昔は、給食費が滞納された場合、管理職が同行して給食費の支払依頼に行ったものです。その経験を振り返ると、給食費も払えないくらい生活に困窮している家庭というのは少なかったように記憶しています。払わなくても済ませられるものならば、払わないでおこうという考えの家庭もあるような気がしますので、そういった考えの保護者がいる中で、一律に給食費を無償化してしまうのはどうなのかなと心配です。</p>
<p>教育委員</p>	<p>給食費の無償化には賛成ですが、一律に無償化するのではなくて、多子世帯</p>

	のみ無償化にするのもいいと思います。
教育委員	私の意見としては、給食費を保護者が負担するのは当たり前のことだと思います。ただ、その負担が家計的に苦しいケースももちろんあると思いますので、そういった場合には、就学援助等の制度で支援すれば良いのではないですか。
市長	<p>皆さんから、給食費に関する様々な御意見をいただきましたが、私の個人的な意見としては、給食費というのは無償化にすべきではないと考えています。例えば、学校に行っても行かなくても、基本的に昼食はどこかで食べるはずですよ。学校へ行かない人との均衡を考えると、最低限果たさなければいけない義務として、給食費はそれぞれに払うべきではないかと思います。そういった義務的なものを支払わなければいけないという感覚が希薄になっていることが、今の日本の問題点の一つではないでしょうか。</p> <p>そうは言っても、昔の貧困とは違って、皆が思っている以上に、今は貧困の格差が広がっているという考えもありますので、どちらが正解とも言い切れません。三豊市や丸亀市の状況も踏まえながら、今後、またこの給食費無償化については議論していきたいですね。</p> <p>では、話を戻しまして、来年度当初予算編成に向けた方針についての御意見を、次の委員お願いします。</p>
教育委員	<p>まず、小児生活習慣病予防健診事業について、意見を述べさせていただきます。この事業では、小学校四年生及び中学一年生を対象に、血液検査、血圧測定及び身体計測等を実施することですが、これは測定だけのものなので、やはり小児生活習慣病の対策に本気で取り組もうとするのであれば、もっと幼い頃から、保護者への教育も含めて、体力づくりや健康的な食生活の推進等をするべきだと思います。もちろん、この予防健診の結果を踏まえて、病院で医師の指導を受けて、小児生活習慣病の対策に結び付くことは必ずあると思いますが、より早期から小児生活習慣病を未然に防ぐプロジェクトがあってもいいと思うのです。例えば、万歩計を皆に配付して、幼稚園や学校ごとに競ったり、または、子どもたちに限らず、市民みんなが参加できるスマートフォン等のアプリケーションを利用して、歩いた歩数に応じてポイントを貯め、その貯めたポイントを自分が寄付したい学校にポイントとして寄付できる、ベルマーク運動のような取組があったりしても良いと思いませんか。実際に、全国ではそういった取組をしている自治体もあるようです。皆が楽しく参加できて、それが健康づくりに繋がるプロジェクトであれば、非常に魅力的ですよ。</p> <p>それから、これは学校訪問のときにも私がよく言っていることですが、市立幼稚園は、現在、校区関係なく好きなところに通えるようになったため、人気の園とそうではない園に二極化されてしまうのではないかという不安があります。だから、ホームページやパンフレットなどを利用して、各園の個性をもっと外に発信していかなければいけないと思います。ここの幼稚園は、体力づくりに力を入れているとか、あそこの幼稚園は広い園庭を利用して畑体験を積極的に行っているとか、それぞれの幼稚園の特色がアピールされていると、保護者が幼稚園を選ぶときに分かりやすいですよ。そうは言っても、通園しやす</p>

	<p>い家の近くの幼稚園が選ばれやすいのかもしれませんが。</p> <p>そして最後に、英語教育についてです。英語のデイキャンプのような、親子で英語が楽しめるイベントをもっと市として積極的に開催してほしいと思います。</p> <p>以上です。</p>
市長	幼稚園は、小学校のような校区はないのですか。
教育長	津田こども園が開園した関係で、今年度から校区はなくなりました。
市長	校区はなくなったけれども、同じ市内の幼稚園なので、教育方針等にあまり違いがないため、結局は物理的に近いところを選んでいるということはありませんよね。せっきやく校区の設定がなくなったのであれば、幼稚園の特色を積極的に広報していく必要があると思います。
教育委員	小学校や中学校で校区をなくしてしまうと、大人数過ぎたり少人数過ぎたりして行事開催が難しくなるといった弊害が出てくるかと思いますが、幼稚園であれば、少人数だともすごく手厚くできることがあるはずですよ。
市長	貴重な御意見、ありがとうございます。 では、次の委員をお願いします。
教育委員	私は、来年度当初予算編成に向けた方針の資料を見せていただき、全体的にバランスよく配分されていると感じました。
教育委員	<p>私は、先ほど委員から意見があったように、各幼稚園の特色をもっとアピールすべきだと思います。幼稚園の競争相手は、公立・私立の幼稚園に限らず、保育所やこども園も含まれます。だから、しっかりと地域に根ざした幼稚園を目指し、市内の保護者に選んでもらえるような幼稚園づくりが大切だと感じています。そう考えると、幼稚園の職員をより一層充実させることも必要だと思います。</p> <p>もう一点は、細川林谷記念館整備事業についてです。美術品にとどまらず、古文書等も収納できるような記念館ができれば嬉しいですね。</p>
市長	<p>確かに、美術館と博物館を合わせたような複合施設ができれば良いのですが、予算の問題もあり、なかなか難しいというのが正直なところです。</p> <p>それから、幼稚園・保育所の議論については、やはり現場でも、これは幼稚園でないといけない、これは保育所でないといけないというような意見は出ているのですか。現場ではどうですか。</p>
教育委員	私も、幼稚園で勤務するまでは、保育所も幼稚園もさほど変わらないと思っていました。しかし、実際に中に入ってみると、随分違いがありました。活動する内容も全く異なりますし、職員の意識も違ってきますよね。
市長	結局は、背後にある法律や制度の違いが、そうさせているのでしょうか。他の委員は、どうお感じですか。
教育委員	今年、津田こども園の初めての運動会に行ってきたのですが、終了したのが12時50分でした。園長先生とも、もう少し早く終わるように工夫するのが課題ですねという話をさせていただきました。園長先生は、これまでの保育所の運動会でしてきたプログラムと幼稚園の運動会でしてきたプログラムの二

	<p>本立てになってしまっている部分があり、そのことが所要時間を長くさせた要因の一つだと言われていました。</p> <p>それから、やはり保育所のニーズが変わらず高いのは、働く保護者が多いということでしょうね。幼稚園も、預かり保育等で遅くまで見てくれるところがありますが、預かり保育の利用人数が少なければ、預かり保育もなかなか難しいところがあります。</p>
市長	<p>保護者の立場からは、どうでしょうか。</p>
教育委員	<p>津田こども園ができるときに、保育と就学前教育の両方がしっかり充実されるのではという期待があったのですが、委員が言われた運動会での様子からしても、保育所組と幼稚園組の融合が、必ずしもスムーズに進んでいないようです。今後に非常に期待したいところです。</p> <p>海外の話で申し訳ないのですが、以前に住んでいたアメリカでは、就学前の子どもは、デイケアと呼ばれる保育園に入っていました。それは義務教育ではないので、入っても入らなくても構わないのですが、小学校に入る前に必ず一年間は、キンダーガーデンと呼ばれる幼稚園に入り、そこで教育を受けなければいけません。また、アメリカの場合は、保護者が就労している、していないにかかわらず、希望者は0歳から保育園に通うことができたので、その点も日本とは違いますね。それに馴染んでいましたから、日本での幼稚園・保育所のあり方については、少し戸惑う部分がありました。</p>
教育委員	<p>我が家は、就労の関係もあり、就学前はずっと保育所に通わせていました。小学校入学前には年に数回、周辺の幼稚園・保育所と合同で、小学校に子どもたちが集まって交流する機会も設けられていたので、そこで子ども同士は交流を深めることができていたように思います。また、保育所でも硬筆やリトミックなどは保育の中に取り入れられていたので、教育的な保育という部分もありました。小学校入学後も、幼稚園出身だから困る、保育所出身だから困るということはないと思います。</p>
市長	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>小学校入学前までに、自分の名前は書けるようになっておかないといけないというようなことはあるのですか。</p>
教育長	<p>そういった決まりはありません。</p>
市長	<p>決まりはないのであれば、小学校入学前までにある程度名前は書けるようになる、数字が分かるようになるといった強迫観念が、きっと保護者にあるのでしょうか。だから、就学前には幼稚園教育が必要だと思っている保護者が多いように感じます。しかし今は、共働きの家庭であれば保育所に子どもを預けることが圧倒的に多いですよ。幼稚園教育を受けたいけれど、今の預かり保育の制度だけでは無理があるので保育所を選択しているのかもしれないですね。預かり保育をもう少し充実することができれば、今よりは幼稚園が選択されるかもしれません。しかし、幼稚園、保育所どちらか一方にこだわり過ぎるのは、子どもたちのためになりません。</p> <p>教育長は、この議論についてどうですか。</p>

<p>教育長</p>	<p>これは、非常に難しい問題です。</p> <p>津田こども園は、今年開園したばかりですから、これからいろいろな経験を経て、より確かなこども園に成長していくと思っています。幼稚園教育は、最初1年だったものが、2年に延び、3年に延びてというように、女性の社会進出等の影響もあり、徐々に幼稚園就園期間が延長されてきたということも、保育所と幼稚園の区別をより複雑にしている一因だと思います。</p> <p>また、先ほど委員から意見があったように、幼稚園の職員と保育所の職員の意識の差は大きいので、そこは十分に配慮する必要があるなと感じています。</p>
<p>市長</p>	<p>いろいろと御意見ありがとうございました。</p> <p>では次の委員、遅くなりましたが、令和2年度における当初予算編成に向けての御意見をお聴かせください。</p>
<p>教育委員</p>	<p>資料を見る限り、多方面にわたって手厚く配慮してくださっているなという印象です。</p> <p>ただ、今の教育現場を見ていると、先生が本当に忙しいですよ。それは、私たち保護者が、何かにつけて学校に電話しがちであるということも、先生を忙しくさせている要因の一つだと思うのです。もちろん、開かれた学校という意味では、保護者が学校に電話しやすい、相談しやすい環境というのは、非常に良いことですが、その保護者対応に先生が時間を取られてしまって、先生方がやるべき他の業務が滞ってしまうこともあると思います。だから、各学校にそういった保護者からの問合せに対応してくれる窓口のようなスタッフがいたら良いのになあと感じています。そうすれば、先生の負担軽減に少しは繋がるのではないのでしょうか。こういうことも、教育委員になって初めて気付いたことです。</p>
<p>市長</p>	<p>ハード面というよりはソフト面の御提案をいただきました。保護者の様々な意見を聴くワンストップ窓口を、担任を受け持っていない先生等に担当してもらえたらという御意見ですね。現状として、保護者からの各種意見や要望に対する対応というのは、各学校の教頭先生が担当しているのでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p>教頭が担当する場合がありますが、直接担任が聴くこともあります。相手の要望によって替わりますが、中学校の場合には、担任が対応することがとても多いです。</p>
<p>市長</p>	<p>その要望の件数や内容なども、非常に広範囲にわたっているのですか。</p>
<p>教育長</p>	<p>そうですね。本当に広範囲にわたりますし、対応にも時間が掛かります。保護者対応は、できれば18時までとなっていますが、相談内容によっては電話が長くなり、19時近くまで掛かることもあるようです。</p>
<p>市長</p>	<p>現場での対応は、そう思いどおりには進まないのは当然のことです。</p>
<p>教育委員</p>	<p>各学校の主幹教諭が、そういう対応をすることにはなっていますよね。</p>
<p>教育長</p>	<p>ただ、主幹教諭が配置されている学校と、そうではない学校があります。</p>
<p>教育委員</p>	<p>そうですね。それから、今は担任がいる教室にも外線電話が繋がるようになってきていると思いますので、保護者から担任に直接電話があった場合、教室で電話対応していることが多いはずですよ。昔は、全て職員室で電話のやり取りを</p>

	<p>していましたから、不便であった半面、どういった電話が掛かってきているのか、管理職も把握しやすかったものです。今は、保護者からの電話内容について、担任が管理職にきちんと報告・相談してくれればいいのですが、たぶん担任だけで抱え込んでしまうケースもあると思われます。だから、便利にはなったけれど、担任が直接対応した内容を管理職が把握しづらいので、対応が後手に回っているケースもあるのではないのでしょうか。学校内で、上司への相談体制をしっかりと整えておくことも大切です。</p>
市長	他に、先生方に対する御意見はありませんか。
教育委員	<p>本当に、先生方は働き過ぎだと思います。</p> <p>来年度から配置予定のスクールサポートスタッフの中に、保護者対応担当を置くのは難しいのでしょうか。そうは言っても、それには非常に特殊な技能が必要になりますね。</p>
教育委員	やはり意見は、直接担任に言いたいものかもしれません。
教育委員	<p>でも、担任が意見を聴く前に、どういった相談内容なのかを振り分けてくれるような担当がいれば、とても助かります。</p> <p>先生は、本当に忙し過ぎますよね。</p>
市長	でも、昔も今も先生がしていることは、あまり変わらないと思います。
教育委員	<p>今は、子どもに関わるが多過ぎます。けんかの仲裁も、昔であれば放ったらかして子どもたちで解決していたものが、今では先生が仲裁に入っていると聴きます。昔と比べて、先生が出ていかなければならない場面が増えているのではないのでしょうか。</p>
市長	でもそれは、そういうときには先生に相談しなさいと指導しているから、子どもも先生に伝えて、先生が出ていっているのではないですか。
教育長	<p>それは、あると思います。</p> <p>でも、そういった対応をしないと、学校が手抜きしていると保護者から言われることもありますので。</p>
教育委員	また、子どもも自分が悪いことは言わずに良いように話を曲げて、保護者に話をすることが多いので、その間違った情報で保護者が管理職に電話してきて、話が複雑になることはありますね。
教育委員	保護者は二極化していると思います。全く静観している保護者と、些細なことでもカっとなってすぐ学校に連絡してくる保護者ですね。
市長	でも、誰でも我が子はかわいいので、自分の子どもの肩を持つ気持ちも分かります。
教育委員	子どもの話だけを聴いて、それが全てになっていることが問題です。
市長	現役のときは、大変でしたか。
教育委員	<p>大変なときもありました。</p> <p>担任からそういった報告を受けたときには、子どもが帰る前に直接保護者に連絡しなさいという話をいつもしていました。そうすることによって、事実がねじ曲がって伝えられるということは、未然に防げたと思います。</p>
市長	保護者対応については、難しいケースもあると思いますが、専任の担当者を

	<p>配置することができれば、少しは担任の先生の負担軽減に繋がるかもしれませんね。</p> <p>では、先に委員から御意見をいただいていた南川少年自然の家の利用に関連して、少し議論させてください。宿泊学習というのは、現在、何年生を対象に実施されているのですか。</p>
教育長	<p>学校によって異なりますが、小学5年生で実施している学校と、小学6年生で実施している学校があります。ただ、6年生は修学旅行があるため、5年生で実施しているところが多いと思います。</p>
市長	<p>屋島で行っている宿泊学習を、市内でできればそれはもちろん良いと思いますが、南川ではなかなか難しいですかね。でも、例えば、先ほど委員から意見のあった英語のデイキャンプを南川少年自然の家で実験的に行ってみるのはどうでしょうか。今までに、そういったイベントを開催したことはありますか。</p>
教育長	<p>昨年の夏にALTに協力してもらい、少人数の参加ではありましたが、開催したことはあります。そのときは、津田公民館で開催しました。</p>
市長	<p>では来年度、もう少し大々的に英語のデイキャンプを開催してみませんか。</p>
教育長	<p>英語のデイキャンプは、外国の言語だけではなく文化も学べる良いチャンスですので、是非取り組みたいところです。</p>
教育委員	<p>英語を学べる機会の充実は、非常にいいですね。</p>
市長	<p>南川少年自然の家では、近ごろ宿泊を伴うキャンプは行ってないのでしょうか。</p>
教育委員	<p>最近では、宿泊はなくて昼間だけというのが多いように思います。</p>
教育委員	<p>子ども会育成連絡協議会が実施している南川のキャンプは、一泊二日ですよね。</p>
市長	<p>宿泊は、責任問題もあり、なかなか実施が難しいのでしょうかね。</p>
教育委員	<p>志度小学校の校区子ども会では、毎年必ず一泊二日で南川少年自然の家を利用しているはずですよ。</p>
市長	<p>それは、完全な子ども会行事で、小学校は関与していないのですか。</p>
教育委員	<p>はい。子ども会行事です。PTA行事でもありません。</p> <p>志度小学校区や津田小学校区の子どもの会で実施していたと記憶しています。子ども会行事については、市内でも非常に地域格差がありますね。</p>
教育委員	<p>長尾小学校区では、子ども会自体が希薄なので、子ども会に加入していない子どもが結構いると聞きました。新しくできた住宅地等では、加入していない子どももいるようです。</p>
市長	<p>それから、御意見をいただいた小児生活習慣病予防健診事業についてですが、やはり幼稚園でも不健康な生活をしているような園児は見受けられるのですか。</p>
教育委員	<p>もちろんいます。幼稚園の頃から、YouTubeを見て不規則な生活をしている子どももいます。また、朝ごはんを食べるのは食べるけれども、その内容がパン一切れの子どものもいます。</p>
市長	<p>それは、もはや子どもの責任ではなくて、親の責任だと思います。</p>

教育委員	しかし、そういった子どもがいることは事実です。
市長	幼稚園児でも、そういった子どもがいるのは、大変驚きです。
教育委員	ゲーム依存症と言えるかどうかは分かりませんが、YouTubeやゲームを長時間している幼稚園児は、たくさんいると思います。
市長	その子どもが大好きなゲームを、先ほど委員が言われていたようなウォーキングプロジェクトと結び付けて、ゲーム感覚でウォーキングができれば、本当にいいと思います。歩くことで貯まったポイントを、自分に直接還元というのではなくて、社会還元できる仕組みもいいですね。ポイントを貯めて、学校の図書室の本が充実するのであれば、頑張る子どもも多いと思います。
教育委員	学校区ごとや学年ごとに競争してみるのも面白いですね。実際にしている自治体はあるはずですよ。
市長	学力の競争だけでなく、そういった競争もしてみるべきだと思います。それから、意見のあった教材費のような教育にかかる費用の一部を支援することについては、どうお考えですか。
教育委員	教材費のような学級費や給食費というのは、必要経費だと思います。ただ、保護者の意見としては、制服や体操服等が非常に高価なので、それを少しでも援助してほしいという気持ちはあります。もちろん、不要になった制服や体操服を集めてバザーをしているPTAもありますが、制服や体操服等の購入が家計の負担になっているという意見は、よく聴きますね。
市長	それから、最近ではランドセルも非常に高価になっていますよね。
教育長	本当にその通りです。
市長	修学旅行については、どうなっていますか。
教育長	就学援助制度を利用している世帯については、実費を援助していますが、それ以外の世帯については、全額自己負担となっています。
教育委員	やはり子どもからすれば、友達と一緒に泊まれるということが、非常に楽しみなイベントなのでしょうね。
教育委員	教員からすれば、いつもとは違った子どもの様子が見られる、良い機会でもあります。
市長	修学旅行の費用について、限度額は決めているのですか。
教育長	そういった限度額はありません。
市長	修学旅行の話は、楽しくていいですね。では、この回で毎回確認させていただいているいじめや不登校について、最後に確認させてください。最近は、少し減ってきているのでしょうか。
教育長	やはり減少傾向にはあると思います。
市長	それは、ただ単純に子どもの数が減っているからというのではないですよ。
教育長	そういうことではありません。
市長	それなら良いのですが。数は減っても、その質が悪質となっていないかが心配です。見えない中で、匿名性に隠れて陰湿なことをするのは、決して許されることではありません。その方が、罪はずっと重いです。いじめ対策

	<p>で、教育委員会と市長部局が協力して、もう一步踏み込んでできることはないかどうか、引き続き検討していきましょう。</p> <p>では、時間も来ましたので、今日はこの辺りでまとめさせていただきます。今後も引き続き、全ては大切な子どもたちを中心に多方面から教育について考えていくとともに、従来の制度にとらわれない教育というものを一緒になって目指していきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。</p>
閉 会	
教育部長	<p>長時間にわたり、ありがとうございました。以上をもちまして、令和元年度第2回さぬき市総合教育会議を閉会いたします。</p>